

令和2年度2月定例麻績村教育委員会 会議概要

開催日時 令和3年2月1日(月) 午前9時30分～

開催場所 麻績村地域交流センター 第3・4研修室

出席委員	職務代理	市ノ瀬淳一	委員	小山正文
	委員	宮川裕満	委員	宮下温子
出席職員	麻績保育園長	臼井孝夫	麻績小学校長	佐々木英明
	筑北中学校長	中原 敏	教育長	飯森 力
	教育次長	塚原優仁	主 事	佐藤克哉

1 開会

2 教育長挨拶

3 報告事項

①教育長報告

- ・近況報告

質疑内容

⇒特になし

②保育園長報告

- ・近況報告

質疑内容

⇒特になし

③小学校長報告

- ・近況報告

質疑内容

宮川委員:保育園、小学校、中学校それぞれでインフルエンザにかかった子は出てきていますか。また出てきている場合はどのレベルでPCR検査を促すようにしていますか。

佐々木校長: 事例は無いですが小学校では発熱の場合は特に、まずかかりつけ医に相談してその判断に従うということになっているので、お医者さんの方でどう振り分けているか分かりませんが本校の状態で言えば『風邪だと思えますからこの薬を出しておきますね』という感じなのでお医者さんの指示に従うということなのかなと思います。

宮川委員: 学校のほうでPCR検査を促すことは無いということですか。

佐々木校長: そういったことは無いです。

中原校長: 中学校の方でもお医者さんの判断に任せています。個人の希望でPCR検査をするとなると費用が当然その方にかかってしまいますので、学校として受けてくださいということは言えないかなと思いますのでお医者さんの判断でやるしかないかなと思います。

臼井園長: 保育園も同じです。

宮川委員: 例えばお医者さんの判断でPCR検査をしてくださいと言った時に村の方から負担をするということは考えているのでしょうか。

教育長: 特に考えていません。

塚原次長: その他によろしいのでしょうか。

宮下委員: 小学校では運動着で生活しているという状況で先日も運動着の購入についてお知らせが来ています。就学前説明会の時にも保護者の方から多く買ったほうがいいのかという質問がありまして、答えるのに考えてしまったんですが来年度もこのような流れになっていくのでしょうか。

佐々木校長: 本校の場合制服委員会のようなものはありません。今の考えとしては来年度PTAの方で意見等をアンケート調査等行いながら方向を決めた上で再来年度から方向を出せばいいかなと思います。確かに昔はみんな登校の時から運動着ということがありましたが今はかなり解除されていますし、筑北村も一切なしにしているので自由にしていってもいいのかなと思いますが、指定されているほうが楽だという保護者もいらっしゃいますので、指定という形は残しながら体育で使う時だけ運動着で登校しようという方向が今の多くの小学校が基本形にしているかと思っています。職員の話を聞いていると1着は買っていただいて運動会とかの行事で全員で何かをやるというときはそれを着ましょう。もう1着は自分の家にあるものを着ましょうというのが良いのではないかという意見が出ていますが、このことについても改めて来年度PTAの方に意見を集めたいと思います。

④中学校長報告

・近況報告

質疑内容

小山委員: 中学校の修学旅行代替について私個人的にはぜひ計画していただきたいと思えます。もちろんコロナの関係もありますので日帰りであれば県内という選択肢にな

るかと思ひます。難しいところもあるかもしれませんが良いのではないかと思ひます。

市ノ瀬職務代理: 関連して、中学校で修学旅行に代わってということで検討していただいていることは大変ありがたいと思ひます。何とかコロナ対策を万全にして出来る方向でやっていたらと思ひます。賛成です。

塚原次長: その他によろしいでしょうか。

宮川委員: 中学校の学校評価アンケートでパーセンテージが比較的到低いものについて改善策を考えているのでしょうか。

中原校長: 低いものについては当然来年度の教育計画を立てる上で対策を考えています。ここにはありませんが正式な学校評価シートについては来年度の改善策も含めてまとめるようにしています。今年は大きく質問項目を変えました。今年の実組にあわせて質問項目を作ったので昨年と数値を比べるということが出来ないものがたくさん出てきてしまったので、低いけど上がっているもの、高いけど去年よりは下がっているものがあるかと思ひますが比べられないところがあります。来年度以降は今年との数値を比べていくということが出来るかなと思ひます。いずれにしろアンケートを取っただけではなくて新年度への改善をPDCAサイクルでやっていきますので来年度の改善策を立てて実行していけるようにしたいと思ひます。

塚原次長: その他によろしいでしょうか。

宮下委員: コロナが続いていて警戒レベルに応じた対策で兄弟間どちらかで発熱した場合は発熱していない兄弟も同じ対応をとるという現状ですが、実際に発熱して両方学校を早退するという事例は結構あったのでしょうか。

中原校長: ありました。小学校の子が熱を出してしまったので中学校の子も休ませています。その後逆に中学校の子が熱を出したので小学校にいる兄弟は治っているけれどお休みにしています。

宮下委員: レベルが下がっていけば変わってくる内容だと思ひますがすごく良かったと思ひます。

塚原次長: その他によろしいでしょうか。

宮下委員: 小学校のおみっこ応援団に安協、商工会、育成会、民生委員の代表の方が新たに加わるということですが、中学校のチーム筑北にも入っている方なのでしょうか。それともまだ入っていないメンバーなのでしょうか。

中原校長: 商工会長さんに入っています。民生委員は主任児童委員の方に入っています。安協と育成会は入っていないです。

塚原次長: その他によろしいでしょうか。

小山委員: 中学校の保健室便りにあります男子生徒間での打撲というのは遊びの中でということで、いじめとかではないということで大丈夫でしょうか。

中原校長: そうですね。しいて言えば仲が良くてということだと思ひます。

小山委員: 学校評価の中で『思わない』、『あまりそう思わない』という回答が多い部分で家庭学習のところが目に付くんですが、これは中学だけが問題じゃないと思ひます。

一貫教育の中で小学校からそういう習慣をつけていかなくちやいけないかなと思いますので、中学だけでなく教育委員会も含めて検討していかなくちはいけない、A4のリーフレットで示しているんですが中々浸透していないかなという実態が分かったところで次年度の課題にしていきたいと思います。

塚原次長:その他によろしいでしょうか。

市ノ瀬職務代理:おみっこ応援団とチーム筑北についてですが、中学の方としても一体化の方向がいいということでしょうか。

中原校長:方向的にはその方向が良いかなと思っています。ただし、ピッタリではないので作り方として部会の方は小学校と中学校で幅を広げたほうが良いと思っています。佐々木校長先生がおっしゃったようなPDCAのようなコミュニティスクールの関係とあわせていくとなるとPTAの関係も出てきますので、検討は必要かと思いますが方向的には私も同じ気持ちでいます。

市ノ瀬職務代理:小学校と中学校が麻績村だけになりましたので同じようなメンバーで色んな会合があるよりも一体化して部会的に運営する方がスッキリするし効率的かと思います。

塚原次長:その他によろしいでしょうか。

教育長:中学校の学校評価アンケートは保護者へのアンケートということでよろしいでしょうか。

中原校長:今回お示ししているのは保護者へのアンケートになります。

教育長:そんな中でお子さんは家庭学習に取り組んでいるかというアンケートで『そう思わない』といった回答が多いということは、家庭学習について課題があるということは保護者も理解はしているということですよ。

中原校長:困ってらっしゃるところもあるかと思います。

教育長:家庭学習を一所懸命進めるとい話をすれば理解を得られるなと思いました。

佐々木校長:小学校でも同様のアンケートで『家庭学習を進んでやっているか』と聞いていますが、家庭の判断は同じぐらいです。ところが子どもたちのアンケートは8割くらいがちゃんとやっているという評価です。この違いは何かだと考えると、保護者の方たちは何も言わなくても進んでやるとか、自分で自由に読書してくれたらという思いがあると思いますが、子ども達は学校から出ているやつはちゃんとやって出してるよという感覚のズレなんだろうなということで小学校で話題になりました。

4 協議事項

①就学援助対象児童生徒の認定について（新入学時）

⇒認定5件

②令和3年度教育委員会主要事業計画（案）について

⇒教育委員からの意見と事務局での修正事項を反映させたものを再度教育委員へ配布。

3月定例教育委員会で協議。

5 その他

①各委員から

- ・特になし

②事務局から

- ・小中学校のネットワーク工事の進捗について
- ・LD等通級指導教室について
- ・卒業式と入学式の来賓対応について

次回開催日程 3月1日（月）午前9時30分～

6 閉会